



▲「日本丸がやってくる!」

空気が変わりました。透明感のある心地よい風が吹いています。秋ってこんなにも急にやってくるのかと驚きつつ、さわやかな季節を歓迎しています。「日本丸」「女性町長サミット」「大中遺跡まつり」とこれから行事が続きます。

◆いよいよ「太平洋の白鳥」といわれる大型帆船「日本丸」が播磨町の港にやってきます。全国から引く手あまたの人気の美しい帆船です。播磨町も2、3年かけて寄港要請をしてきました。21年前に2市2町で構成する「東播磨海広域行政協議会」で寄港が実現しましたが、今回は播磨町町制施行55周年の記念事業として実施いたします。21年前に寄港イベントを体験した私としては、ぜひその感動を子どもたちや住民の皆さまに味わっていただきたいと思っています。私たちのまちが、美しい瀬戸内海に面したまち、港があるまちということを再認識していただける行事となればうれしく思います。寄港中、何よりもお天気に恵まれ、大勢の方々にご来場いただけるよう願っております。

◆播磨町にはいろいろな「・・・計画」がありますが、その中の一つに「国民保護計画」があります。国が定めた「武力攻撃事態等における国民の保護のための法律」に基づき、全国の自治体で計画策定が行われていますが、本町でも平成19年に策定しました。播磨町が設置するその協議会は、県、自衛隊、警察など様々な関係機関で構成されています。最近、連日のように報道される隣国のミサイル発射情報などで国民の不安は増すばかりですが、自然災害だけでなく、様々な脅威が存在する昨今、ご家庭でも地域でも非常時への対応にご留意いただければと思います。70年以上続いてきた「平和な日本」がこれからも続いていくことを願うばかりです。 播磨町長 清水ひろ子

播磨町ことぶき大学学生自治会主催 播磨町町制施行55周年記念 第2回ことぶき大学ふるさと夏まつり開催

中央公民館 ☎079(437)6980

8月30日中央公民館において、学生自治会が中心となり、町内で活動する団体の交流・親睦を目的に、第2回ことぶき大学ふるさと夏まつりを開催しました。

ロビーでは、わた菓子、マフィン、くじ引きなどの模擬店、大ホールでは、播磨保育園5歳児による和太鼓、町内出身女子大学生による民謡、ダンシングチームキララなどのステージもあり、600人の人でにぎわいました。



▲大きな輪になり踊りました

最後は盆踊りを全員で行い、参加者も主催したことぶき大学生もとても楽しんで一日でした。

農地パトロールを実施しました

住民グループ ☎079(435)2364

農業委員会では、遊休農地の発生防止および解消状況などを調査するため、毎年農地パトロールを実施しています。今年は8月29日に状況調査を行いました。9~10月も引き続き調査を行います。これからの季節は、火災の発生など周囲の環境に支障が生じる恐れがありますので、良好な管理に努めていただきますようお願いいたします。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



▲現地を見てまわりました

楽屋裏
日本丸が播磨町にやってくる。船が停泊する新島公共埠頭は、マイカーや自転車、徒歩で入場することはできません。埠頭に行くには、シャトルバスに乗ってください。限られた時間に多くの人が会場に向かうため、巡回するシャトルバスは前の発着場で満員になった場合、乗れない場合があります。逆に会場と発着場を短い距離で往復し、間に信号がない臨時駐車場からのシャトルバスは、効率よく輸送できるのではないかと想像しています。詳しくは、今月号4ページをご覧ください。(宮)

播磨中学校陸上部 全国大会出場

企画グループ ☎079(435)0356

第44回全日本中学校陸上競技選手権大会が熊本県で開催されました。出場が決まった播磨中学校陸上部の飯牟田空良君と山本陽菜さんが、大会前に町長を尊敬訪問しました。

飯牟田君は「優勝を目指して頑張りたい」と、山本さんは「決勝まで勝ち残り、入賞を目指したい」と力強く抱負を語ってくれました。



▲左 山本陽菜さん(走高跳) 中央 飯牟田空良君(110mH・4種競技)

土のう工法等訓練を実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

8月19日、自主防災組織と消防団合同で本格的な台風シーズンに備え、土のう工法等訓練を実施しました。

加古川市消防本部東消防署播磨分署員の指導のもと、78人が参加して土のうの作り方や積み方について映像などで研修を受けた後に、実践しました。



山元町からの手紙

今回は山元町の夏祭りの様子を報告します。8月に町内の各地区で開催されましたが、播磨町より気温が平均5℃程低いため、涼しく過ごしやすい中、開催されました。今年は震災後に始まった「すきですやまもと復幸花火大会」が「すきですやまもと夏祭り」にリニューアルされ、新市街地の公園での開催となり、様々な出店やステージイベントで盛り上がっていました。 藤原 洋介



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亶理郡山元町に派遣されています

喜瀬川で魚や虫の観察を行いました

すこやか環境グループ ☎079(435)2721

毎年、図書館とすこやか環境グループの共催で「夏休みおもしろ教室」を開催しています。その中の一つ、喜瀬川の生物を観察する体験教室を8月11日に実施しました。

12組の家族が参加して川に入り、モツゴやメダカ、どじょう、ヨシノボリなどの在来生物の生息を確認。サカマキガイなどの外来生物がいることも分かりました。



外来生物とは、もともとその地域に生息していなかった生物で、人間の活動によって意図的・非意図的に持ち込まれた生物のことを言います。外来生物が原因で、在来の自然環境や野生生物に深刻な悪影響を及ぼすことがあります。

1. 外来生物をむやみに他の地域に「入れない」
2. ペットとして飼育している外来生物を「捨てない」
3. 既にその場所に存在している外来生物を他の場所に「拡げない」

未来の子どもたちに日本本来の自然環境を残せるかどうかは、これらのルールを私たち一人ひとりが正しく理解し、今後しっかり守っていくことができるかに掛かっています。

わんぱくはりまっこ



なんたく あさひ 南宅 朝陽くん (古宮)

いつも笑顔をくれてありがとう。これからも大好きだよ。(パパ・ママより)

※撮影時の年齢です。